

各 位

2019年3月25日  
株式会社インプレス

絵心も知識も不要で、西洋美術が楽しくわかる  
新刊『アートロジックを読み解く 西洋美術の楽しみ方』3月25日発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、西洋美術をやさしく解説した書籍『アートロジックを読み解く 西洋美術の楽しみ方』を2019年3月25日（月）に発売いたします。



### ■絵心も知識も一切不要で楽しく読める

今、西洋美術が注目を集めています。巨匠と呼ばれる画家たちの展示会が日々開催され、アートをテーマにした書籍や雑誌が書店の棚を賑わせています。このようにアートに触れる機会が多くなっているものの、「絵心がないから見てもわからない」「知識がないからつまらない」といった理由で、最初の一步が踏み出せないという人も多くいます。本書は、そのようなハードルを感じている人のための、「絵心不要・知識不要」のまったく新しい西洋美術の入門書です。

### ■自分のペースでじっくり作品を鑑賞しながら学べる

本書の大きな特徴は、「作品をじっくり鑑賞できる」「作品と作者、時代背景が同時に学べる」という点です。西洋美術は、時代によって題材や表現が大きく異なりますが、そこには「なぜその時代にこの題材が好まれ、この画風が生まれたのか」というロジックがあるのです。本書はアート作品の裏側のロジックに着目し、1つ1つの作品をじっくり鑑賞しながらイラスト図解で読み解くことで、西洋美術が楽しく学べる構成になっています。

#### <本書の特長>

- ・ 作品をじっくり鑑賞できる大きな図版とすっきりした紙面
- ・ 豊富なイラスト図解による作品の読み解き
- ・ 美術学校の講師視点のわかりやすい解説
- ・ 全体の流れがひと目でわかるビジュアルインデックスつき

- ・掲載作品の総数は100点以上

<本書はこんな人におすすめ>

- ・絵画の楽しみ方を知りたい
- ・その作品が生まれた背景を知りたい
- ・美術的な教養を身につけたい
- ・アーティストの思考を学びたい
- ・絵画技法を学びたい

<掲載作品の例>

- ショーヴェ洞窟の壁画
- 古代エジプト『死者の書』
- ビザンティン美術のモザイク画
- ジョット『ユダの接吻』
- ボッティチェリ『プリマヴェーラ』
- ダ・ヴィンチ『ラ・ジョコンダ (モナ・リザ)』
- ミケランジェロ『最後の審判』
- ラファエロ『アテナイの学堂』
- カラヴァッジョ『トランプ詐欺師』
- ルーベンス『キリスト降架』
- ベラスケス『女官たち(ラス・メニーナス)』
- レンブラント『夜警』
- フェルメール『牛乳を注ぐ女』
- フラゴナール『ぶらんこ』
- ゴヤ『裸のマハ』
- アングル『グランド・オダリスク』
- ドラクロワ『墓場の少女』
- ミレー『落穂拾い』
- マネ『オランピア』
- ルドン『キュクロプス』
- マグリット『静物』

そのほか、コロー、モネ、ゴッホ、セザンヌ、ドガ、キリコなど、掲載作品総数100点以上

目に見えない感情を色彩で伝えた絵  
『散歩、日傘をさす女性』



クロード・モネ 『散歩、日傘をさす女性』 1875年 100×81 cm  
油彩 ナショナル・ギャラリー (ワシントン)

注目ポイント  
✓描かれている靴子

● 第3章 アートの革命 ●

**解説**

散歩、日傘をさす女性

古代彫刻  
中世彫刻  
ルネサンス彫刻  
ロココ彫刻  
近代彫刻

日傘  
日差しが強いので日傘をさしている。カミーユが携っていたことがわかる

モネの妻 カミーユ  
この絵を描くモネを優しく包みこむ表情がしっかりと描かれている。顔には風になびくペールが描かれている

モネの息子 ジャン

足元の草やカミーユのドレスは強風でなびいている。筆致と重なって風を感じさせる

影がしっかりと描かれているので結構であることがわかる

靴の具はチューブから直接キャンバスにのせる描き方

④ モデルはモネの妻と息子

日差しをいっぱい浴びて、やさしく輝くありのままを表現するため、絵の具を混ぜずに直接キャンバスにのせています。塗るというより色を置かせる感覚です。パレットの上で混色しすぎないでキャンバスの上で重ねながら色をつくっていきます。悲しみに打ちひしがれるモネはその7年後、亡き妻の面影を2枚描き残します。

受する妻カミーユと息子ジャンから見つめられている幸せな瞬間、あふれる“愛情”を“やわらかな日差し”として表現しています。幸せのときを描いた4年後、カミーユはこの世を去ってしまいます。悲しみに打ちひしがれるモネはその7年後、亡き妻の面影を2枚描き残します。

131

じっくり鑑賞できて、イラスト図解で読み解きポイントがしっかりわかる紙面構成。

### 作家


絵に命を与えた画家

**ジョット・ディ・ボンドーネ**

1267年頃～1337年1月8日。イタリアのフィレンツェ付近で生まれたとされる中世後期の画家。建築家。スクロヴェーニ礼拝堂の壁に描いた40点以上あるフレスコ画が有名。「イタリア絵画の父」と呼ばれる。

民衆にわかりやすい絵

モザイク画が主流のころ、その堅苦しい表現は主題が伝わりこそしますが、見る人が作品の主題を自分ごとのように感じるのは困難でした。現代と比べ識字率が低かった当時、信者たちは礼拝堂の中で神父が語る聖書の場面を聴きながら礼拝堂の中を移動し、紙芝居を見るように壁に描かれた絵を見て信仰心を深めたのでしょうか。ジョットは絵を現実に近い描写に近づけることで、主題のわかりやすさをそのままに、鑑賞者に共感を招かせた表現へと飛躍させました。中世美術からの脱却ともいえるこの模索は、ルネサンスの開化に貢献することになります。

スクロヴェーニ礼拝堂の聖書を教える信者

ジョット・ディ・ボンドーネ 『最後の晩餐』1304～1304年  
 朝への夕陽と同じくも輝きを放つ絵画の1つ。建物も立体的に描こうとする意図が見える

### 時代

● 第1章 アートの起源 ●

（中世美術 年表）

ジョット 1267～1337年頃

500年頃	ビザンティン	1500年頃	1000年頃	ロマネスク	1200年頃	1300年頃	ゴシック	1400年頃
古代美術	中世美術	ルネサンス美術	バロック・ロココ美術	近代美術	現代美術			
約4万年前～紀元後100年	330～1450年	1450～1600年	1600～1750年	1750～1900年	1900年～			
封建時代	中世	ルネサンス	バロック	近代	現代			

信仰のための美術


中世美術の時代約1200年間は、常にヨーロッパで領土争いが起きていた時代です。貴族階級の人々は全体を通じて優雅に暮らしていましたが、一般市民には救いが必要でした。イエスとその使徒たちにより、神の教えが民衆に広まり、ついに392年にローマ帝国はキリスト教を国教と見なしました。キリスト教は、教会の壁面や写本に聖書のシーンを描くことで字の読めない人々に広められていきました。布教の場であった教会には、きらびやかなモザイク画や光の効果を使ったステンドグラスなど、その当時の最先端技術が駆使され、時代が進むにつれ建築も磨かれていきました。中世美術を語るうえでもう一つ外せないのが、聖像崇拜を禁止する動きです。様式的な表現を生んだこの運動は時間とともにその厳しさを和らげ、ジョットの登場とともに終わりを告げます。それはルネサンス美術の先駆けとなりました。

ビザンティン絵画




プロトタイプとしての絵が描かれた

ロマネスク絵画




キリスト教のエピソードを伝えるための絵が描かれた

ゴシック絵画



きらびやかなステンドグラスで光を表現した

ジョットの絵画



再び人物描写に動きが取り入れられた

作家のプロフィールや時代背景、関連作品も丁寧に解説。

### 第3章 『アートの革命』～第4章 『アートの多様化』

印象派から現代へ加速する多様化



サロン  
アカデミー・ボザールが中心で開催した展示会

マネを慕う  
フランス モネ  
『浴衣、日傘をさす女性』1875年

フランス ルノワール  
『ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏会』1876年

友人  
フランス マネ  
『草上の昼食』1863年  
ブルジョワの出身。印象派の父と慕われるが、印象派への出品はしなかった

友人  
フランス ドガ  
『舞台上のバレエの稽古』1874年  
ブルジョワの出身。初期はサロンへ出品していたが、後年は印象派画へ参加

友人  
フランス ゴッホ  
『星月夜』1889年

友人  
フランス ゴッホ  
『オランダの農民』1885年

### CHAPTER 3-4 VISUAL INDEX

サイエンスの進歩とともに、アートも多様化していきます。創作の目的も拡大していきます。

#### アメリカで開花する印象派たち

印象派の画家たち

アンリ・ファンタン・ラトゥール  
『キティニョールのアトリス』1878年

フランス セザンヌ  
『大浴』1906年

影響

フランス ピカソ  
『アヴィニヨンの娘たち』1907年

イタリア キリコ  
『通りの神祕と憂鬱』1914年

才能を認める

フランス ルソー  
『抱擁の女』1907年

イタリア モランディ  
『静物』1948年

ベルギー マグリット  
『イメージの裏切り』1929年

巻頭のビジュアルインデックスで、作家や作品ごとのつながりがひと目で理解できます。

### ■目次

序章 アートのロジック 人々を感動させる絵画の力

第1章 アートの起源 地中海をゆりかごに育った西洋美術

第2章 アートの発展 神の時代から人間の時代へ

第3章 アートの革命 産業革命と芸術革命、激動の時代

第4章 アートの多様化 印象派から現代へ加速する多様化

## ■書誌情報



書名：アートのロジックを読み解く 西洋美術の楽しみ方

著者：OCHABI Institute

発売日：2019年3月25日（月）

ページ数：176ページ

サイズ：B5変形判

価格：本体1,980円＋税

ISBN：978-4-295-00595-7

◇書誌情報：<https://book.impress.co.jp/books/1118101085>

◇書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/500595.jpg>

## ■著者プロフィール

OCHABI Institute

「芸大・美大・美術高校受験・御茶の水美術学院」「ゼロからはじめてプロになる・御茶の水美術専門学校」「大人のためのアートスクール - OCHABI artgym」の3つの学校の総称。「世界に文化で貢献する」という理念のもとに、クリエイティブ力を身につけた人材を世界に送り出している。

以上

---

### 【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計7,500万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、及びデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

### 【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証1部9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「旅・鉄道」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

### 【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

TEL：03-6837-5034 E-mail：[pr-info@impress.co.jp](mailto:pr-info@impress.co.jp) URL：<https://www.impress.co.jp/>